

# 第四期いわき市子ども読書活動推進計画の概要

## 1 計画の性格

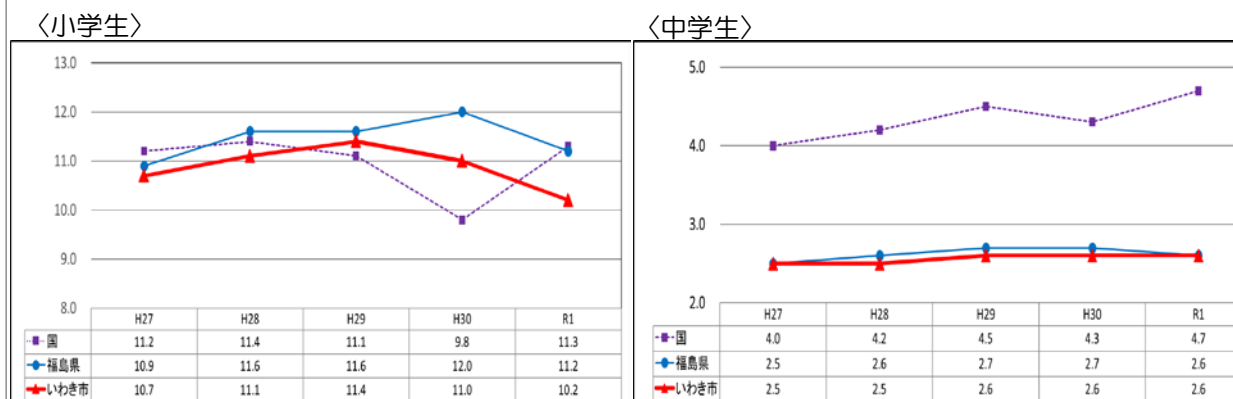
- ◆「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年法律第154号）第9条第2項の規定に基づき策定するもので、本市における子どもの読書活動推進に関する基本方針や目標を示し、それに向けて講じるべき施策の方向性を示しています。
- ◆子どもたちが読書の楽しさを実感し、生涯にわたって望ましい読書習慣が身につくよう、家庭、地域、学校がそれぞれ果たすべき役割を明確にし、その活動を推進するために必要な取り組みを体系的に示しています。

## 2 期間と対象

【期間】令和3（2021）年度から令和7（2025）年度（5年間）  
 【対象】おおむね18歳以下のすべての子ども

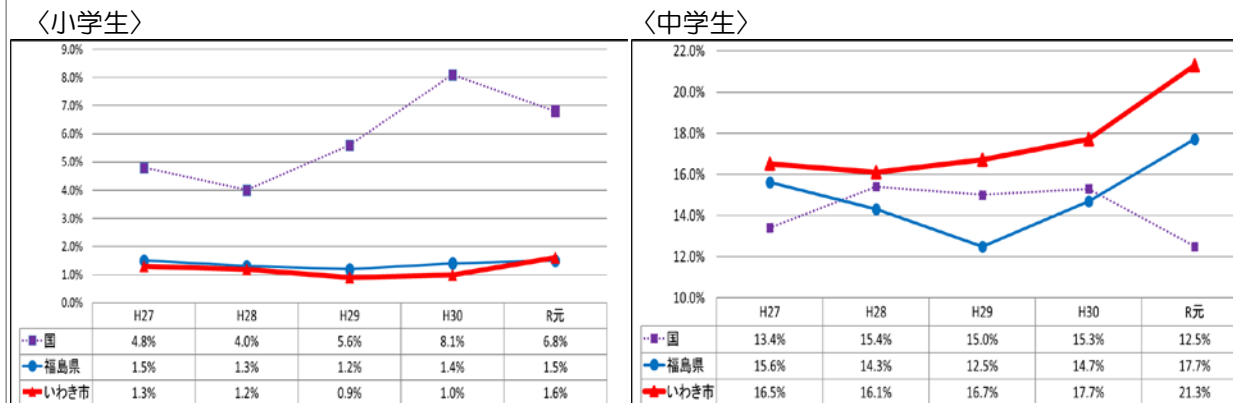
## 3 本市における子どもの読書活動の現状

【1か月の平均読書冊数】（「読書に関する調査」福島県教育委員会、「学校読書調査」全国学校図書館協議会・毎日新聞社）

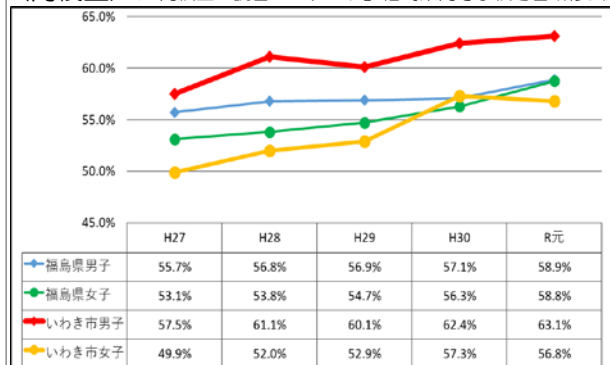


- ・本市の小学生の1か月の平均読書冊数は 10.2冊で、国・県と比較すると1冊少ない。
- ・本市の中学生の1か月の平均読書冊数は 2.6冊で県と並んでいるが、国と比較すると2冊以上少ない。
- 第三期計画が終期を迎えるが、子どもの平均読書冊数に大きな変化は見られなかった。

【不読率】（「読書に関する調査」福島県教育委員会、「学校読書調査」全国学校図書館協議会・毎日新聞社）



【高校生】（「高校生の読書アンケート」福島県高等学校司書研修会）



- ・小学生の不読率(※)は 1.6%であり、前年度調査と比較すると若干増加傾向にある。
- ・中学生の不読率は 21.3%であり、前年度調査と比較すると3.6%と増加傾向にある。
- ・高校生の不読率は 59.9%であり、増加傾向にある。特に、女子（56.8%）よりも男子（63.1%）の不読率が高い。
- 第三期計画が終期を迎えるが、子どもの不読に歯止めがかかっていない。
- ※不読率：1か月に1冊も本を読まない子どもの割合

## 4 第四期計画の基本的な考え方

- ◆第三期計画で推進してきた、家庭、地域、学校等における読書活動を、第四期計画でも引き続き推進します。
- ◆小学3年生から4年生、小学6年生から中学1年生、中学3年生から高校生などの、学年や学校種間の接続期において、生活環境の変化等から子どもが読書から遠ざかる傾向にあることから、発達段階に応じた読書活動の推進を強化します。
- ◆新型コロナウイルス感染症や、情報環境の変化等を踏まえた取り組みを推進します。

【スローガン】  
 読書がひろく 未来へのとびら 新たな世界  
 ～生き抜く力を読書から～

## 6 第四期計画の構成

### 基本目標1 子どもの発達段階に応じた読書活動の推進

乳幼児、児童、生徒の一人一人の発達や読書経験に留意し、それぞれの特徴に応じた切れ目のない取り組みを進めます。

- 「この本よんだ？」の発行
- 発達段階に応じた図書等の幅広い収集と整備
- 絵本紹介パンフレットの配布 ●赤ちゃん絵本プレゼント事業
- 絵本の読み聞かせや紙芝居、観劇会などの実施
- 各家庭への情報提供（保育所・幼稚園等）
- ◇小学校入学前の子どもへの保護者に向けた本の紹介パンフレットの配布
- 子ども司書（初級・中級）育成事業
- ◇図書だよりによる各家庭への情報提供（小・中学校）
- ◇読書活動推進モデル事業
- ◇小・中学校でのビブリオバトル（書評合戦）
- ◇高校図書委員等のおすすめ本の展示
- は重点的取組
- ◇は新規事業

### 基本目標2 子どもが読書に親しむ機会の充実

家庭、地域、学校、図書館が連携・協力しながら、子どもたちが読書に親しむ機会づくりを行います。

【推進の方策】

- (1)家庭における読書活動の推進
- (2)地域における読書活動の推進
- (3)本市にゆかりのある文学者と作品の紹介・普及
- (4)学校等における読書活動の推進
- (5)支援を必要とする子どもの読書活動の推進

《新規事業》

- ◇子ども司書OB交流おはなし会
- ◇デイジー図書(※)の整備
- ◇いわきゆかりの文学者の紹介
- ◇チャレンジホームへの読書支援等
- ◇外国語絵本等を活用した取組 等
- ※活字による読書が困難な方向へのデジタル録音図書のこと

### 基本目標3 子どもの読書のための環境の整備

子どもたちが、様々な機会と場所において、読書に親しむことができる環境整備の推進を行います。

【推進の方策】

- (1)市立図書館の整備・充実
- (2)学校図書館等の整備・充実
- (3)連携・協力体制の構築

《新規事業》

- ◇YouTubeを活用した図書館事業の動画配信
- ◇電子書籍導入に向けた調査研究
- ◇新聞社と連携したNIEの推進 等

### 基本目標4 子どもの読書活動についての理解の促進

子どもの読書に係る様々な情報を収集し提供するとともに、保護者へ絵本の読み聞かせや読書活動の大切さについて情報発信を行います。

【推進の方策】

- (1)子どもの読書活動に関する情報の収集と提供
- (2)「子ども読書の日」（4月23日）、「読書週間」（10月27日～11月9日）等を活用した取組の実施

## 5 第四期計画の主なポイント

- (1)数値目標を設定  
 計画の推進状況と、取り組みの達成度を評価するための指標として、新たに数値目標を設定しました。
- (2)発達段階に応じた読書活動の推進を強化  
 新たに基本目標のひとつと位置付け、子どもの発達段階を①乳幼児期、②小学校低学年（小学1～3年生）、③小学校高学年（小学4～6年生）、④中学校期、⑤高校期に分け、切れ目のない読書活動を推進します。
- (3)社会情勢の変化に対応  
 コロナ禍における読書活動や、支援を必要とする子どもたちへの読書活動の推進方法についても検討します。